

龍馬ゆかりの県観光展

2026年11月15日（日）

場所　京都霊山護国神社10:30～17:00

（京都市東山区清閑寺霊山町１）

幕末の英雄・坂本龍馬ゆかりの７県（高知県、山口県、福井県、長崎県、佐賀県、鹿児島県、広島県）が、幕末維新期の各地のつながりを、龍馬をはじめ幕末の志士たちが活躍した京都の地でＰＲします。

龍馬の誕生日であり、命日でもある11月15日に京都霊山護国神社で、龍馬ゆかりの各地をつなぐ観光情報をご案内します。



京都高知県人会による
軍鶏鍋のふるまい



北川村ゆず王国(株)の販売商品
(※写真は、イメージです。)

中岡慎太郎先生顕彰会と北川村ゆず王国(株)も出展し、高知県北川村のゆずを使った商品を販売！！わしの大好物**軍鶏鍋**(しゃもなべ)のふるまいもするぜよ。みんなあきとうせ。



龍馬が結ぶ７県の縁

1 高知県

龍馬誕生地（高知市）

1835（天保６）年、土佐藩郷士・坂本八平の次男として誕生。1862（文久２）年３月、土佐藩を脱藩。その後は薩長同盟の斡旋、日本初の貿易商社である亀山社中（のちの土佐海援隊）の結成など、幕末から維新に向かう時代の大きな流れを生み出す原動力として活躍しました。

1867（慶応３）年、京都・近江屋で何者かの襲撃を受け、誕生日と同じ11月15日に没しました。明治維新前年のことでした。

高知県大阪事務所　住所：大阪市中央区本町2-6-8　センバセントラルビル1階　TEL:06-6244-4351

2 山口県

松陰神社（萩市）

長州藩士・久坂玄瑞の日記によると、1862（文久２）年１月14日、坂本龍馬が武市半平太の書簡を持って久坂玄瑞を訪れ、萩の旅館に泊まったとあり、たまたま薩州藩士・田上藤七も樺山三円の書簡を携えて来萩していました。

図らずも久坂玄瑞を中心に、薩長土の三藩が日本の将来を語り合った場所として、松陰神社の敷地内に「薩長土連合密議之處」と記された石碑があります。

山口県大阪事務所　住所：大阪市北区梅田2-4-13　阪神産経桜橋ビル2階　TEL：06-6341-0755

3 福井県

茛屋旅館（福井市）

1862（文久２）年、龍馬は福井藩16代藩主松平春嶽との面会を果たし、以降、２度にわたって福井の地を訪れ、春嶽の信頼が厚い福井藩士との親交を深めました。その中には、五箇条の御誓文の原案者である三岡八郎（由利公正）や中根雪江、村田氏寿など、明治新政府に出仕した人物が多くいました。特に三岡八郎とは馬が合ったようで、福井を訪れた際、足羽(あすわ)川(がわ)近くの茛屋(たばこや)旅館で、朝まで日本の将来を語り合ったとされています。

福井県京都事務所　住所：京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町88番地　K.I.四条ビル6階　TEL：075-354-5408

4 長崎県

亀山社中（長崎市）

1865（慶応元）年、龍馬が中心となって、日本初の貿易商社「亀山社中」が結成され、長崎は、幕末を駆け抜けた龍馬にとって、大きな飛躍の舞台となりました。

長崎市内には、亀山社中を復元した記念館や、坂本龍馬像が建つ風頭公園、龍馬のぶーつ像など、龍馬ゆかりのスポットがたくさんあります。

また県内には、遭難した同志を慰霊する新上五島町の「坂本龍馬ゆかりの広場」や島原市の「坂本龍馬上陸の地」などもあります。

長崎県大阪事務所　住所：大阪市北区梅田1-3-1-800　大阪駅前第1ビル8階　TEL：06-6341-0012

5 佐賀県

うれしの茶（嬉野市）

1865（慶応元）年、龍馬が結成した貿易商社・亀山社中の資金源の一つとして、佐賀県嬉野市を中心に生産される「うれしの茶」が大きく関わっています。

長崎の貿易商、大浦慶はうれしの茶をアメリカ・イギリスなどに輸出し、巨万の富を得ました。

その陰で龍馬ら幕末の志士たちに活動資金を提供。近代日本の夜明けに一役かったと言われています。

佐賀県関西・中京事務所　住所：大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階　TEL:06-6344-8031

6 鹿児島県

塩浸温泉（霧島市）

1866（慶応２）年、京都伏見の寺田屋事件で九死に一生を得た龍馬は、西郷隆盛らの勧めで、妻・お龍とともに、霧島市の塩浸温泉で傷を癒しました。

高千穂峰や霧島神宮、日当山温泉、犬飼滝などを訪れた旅は、日本初の新婚旅行といわれています。

霧島市の塩浸温泉龍馬公園には、「龍馬資料館」「龍馬とお龍の縁結びの足湯」「坂本龍馬・お龍新婚湯治碑」などがあり、二人の旅の足跡を今に伝えています。

鹿児島県大阪事務所　住所：大阪市北区梅田1-3-1-900　大阪駅前第1ビル9階　TEL:06-6341-5618

7 広島県

鞆の浦（福山市）

1867（慶応３）年、龍馬率いる海援隊が初航海で乗り込んだ“いろは丸”と紀州藩の船が衝突、沈没した「いろは丸事件」。事件の解決をめぐって紀州藩と激しい談判を繰り広げる舞台となったのが、鞆の浦です。鞆の浦には、龍馬らが宿泊した「桝屋清右衛門宅」や事件の交渉が行われた「旧魚屋萬蔵宅」「対潮楼」、いろは丸からの引き揚げ品を展示する「いろは丸展示館」など、事件解決に奔走した龍馬の足跡が色濃く残っています。

広島県大阪事務所　住所：大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階　TEL：06-6345-5821

